

平成 28 年 度

事 業 報 告 書  
決 算 報 告 書

公益財団法人 愛媛県総合保健協会

## 平成28年度事業報告

### 総括

平成28年度は、新公益法人制度による公益財団法人として4年目となり、より公益性の高い事業を引き続き行うこととし、県民の健康づくりサポート事業と生活環境の保全改善検査調査事業を二本柱に、事業の公益性や運営の透明性を一層意識して事業を推進した。

県民の健康づくりサポート事業について、平成26年度から開発に着手した新システム（健康診断管理システムや医療画像システムなど健診関連システムを総合的に機能させる）は、平成28年4月に完全稼働となった。稼働当初は、システムの不具合や職員の習熟不足等もあり、多少の混乱が生じたが、年度後半からは安定した運用ができるようになり、28年度末には、システムの一部改修も終え、平成29年度は順調な滑り出しとなっている。

新システムは、基幹システム内で受診者を一意に定めるID番号をキーとして、医用画像システム、臨床検査システム等の各システムと連動し、個人情報や予約受診情報のほか、全ての検診検査結果を互いに連携出来るようになった。これにより、健診業務の精度向上と高度な診断の実施が可能となるとともに、質の高いサービスの提供のため、データの利用促進やICT（情報通信技術）を活用した特定疾患の早期発見と成人病予防対策を推進した。

また、生活環境の保全改善検査調査事業については、27年度に続き2回目となる食品衛生セミナーを開催するなど啓発活動の強化にも取り組んだ。

### 県民の健康づくりサポート事業

健やかな生活は、すべての県民の願いであり、健康を保持増進するためには疾病予防に関する正しい知識と信頼性の高い情報の発信が重要である。

このため当協会では、各種健康診断・検診による情報収集を行い、集まった情報を分析し、そこから得られた成果や課題を検討するなどして、情報の受け手ごとの有用な情報を提供するなど、県民の健康づくりサポート事業を推進した。

中でも、県や市町と連携して、セミナーの開催や講師派遣、イベントを利用した啓発活動の実施等を通じた新たな健診受診者の掘り起こしに取り組むとともに、がん精密検査の未受診者向け受診勧奨チラシを作成配布し、検診結果を健康管理に活かすための取り組みを行った。

機器整備に関しては、平成28年4月から本稼働した新システムの不具合の解消、及びシステムの機能向上を行うため、健康診断業務管理システム、健診データ収集システム、医用画像統合システムのカスタマイズ開発を行った。さらに、労災二次健診を強化するため、超音波診断装置を整備し、心臓エコー検査の実施体制を整えた。また、子宮がん検診の併用検査（細胞診+HPV検査）に対応するため、遺伝子検査装置を整備した。

胃がん検診については、国による「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書」を踏まえ、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が改定され、対策型検診に胃内視鏡検査が加えられたことから、当協会においてもこれに対応するため、27年度に胃内視鏡検査システムを導入し、28年度はその本格的実施を行ったところである。

平成28年度に実施した事業は、次のとおり。

## I 情報収集の実施

生活習慣病、がん、結核及びその他の疾病の調査分析事業の基本となる情報収集について、実施主体である県下 20 市町や事業所からの委託を受けて健診（検診）を実施してデータを収集した。また、医療機関とも連携し、詳細な情報の収集を行った。このため最新の検診検査機器の整備に加え、検査に従事する職員の資質向上を図り、信頼性の高い情報を収集できるよう健診環境の充実に努めた。

### 1 巡回健診事業

県内各市町、事業所、学校などへ検診車を巡回させ、受診者の要望を踏まえた身近な場所での健診（検診）を行った。

#### (1) 地域（住民）健診

県内全 20 市町からの委託を受けて、県内各地を巡回し、地域住民を対象とした特定健康診査や各種がん検診を実施し、情報を収集した。平成 28 年度事業計画に対する達成状況は、後期高齢者健診、腹部超音波検査、胃がん検診、前立腺がん検診を除き、計画を下回った。

平成 27 年度との比較においては、後期高齢者検診、特定保健指導、腹部超音波検診、肺がん CT 検診及び乳房超音波検診を除き、昨年度実績を下回った。

これらの要因としては、平成 28 年度に一部の市町において受診勧奨（コール&リコール）事業の実施を中断したことや、大腸がん検診無料クーポン事業の終了などにより、受診率の低下につながったと考えている。

なお、肝炎ウイルス検査は 27 年度に大きな伸びを見せたが、28 年度は同様な伸びが見られなかった。肝炎は治療効果が大きく進んでおり、国としても検診を推進していることから、今後も啓発活動を続け受診率向上に力を入れていきたい。

項目	区分	28 年度 計画(人)	28 年度 実績(人)	達成率 (%)	27 年度 実績(人)	28/27 (%)
特定健康診査		33,000	29,649	89.8	33,921	87.4
後期高齢者健診		8,600	8,888	103.3	8,656	102.7
特定保健指導	動機づけ支援	440	328	86.1	273	120.1
	積極的支援		51		45	113.3
肝炎ウイルス検査		3,600	3,226	89.6	5,241	61.6
腹部超音波検査		13,500	13,891	102.9	13,823	100.5
骨粗鬆症検査	超音波	6,200	5,783	93.3	6,001	96.4
肺がん検診	CR	43,000	36,302	97.8	37,847	95.9
	CT		5,770		5,713	101.0
胃がん検診	間接	26,000	0	100.9	0	-
	DR		26,226		28,057	93.5
大腸がん検診		44,000	42,192	95.9	45,822	92.1
子宮頸がん検診		23,000	22,110	98.6	22,686	97.5
乳がん検診	マンモグラフィ	23,000	19,911	93.6	21,487	92.7
	乳房超音波		1,615		1,367	118.1
前立腺がん検診		12,400	12,820	103.4	13,289	96.5

## (2) 職域（事業所）健診

労働安全衛生法に基づき実施が義務付けられている健診で、県内各地の企業や団体などの事業所からの委託を受け、巡回訪問して実施したほか、受診者（働く人）の利便性を考慮（休日健診も実施）し、当協会施設でも実施した。

平成28年度事業計画に対する達成状況は、定期健康診断を除く項目で計画数を上回った。

平成27年度との比較においては、定期健康診断及び乳がん検診、CT肺がん検診を除く各種がん検診は前年実績を下回ったが、他の項目については上回った。

中でも、特定健康診査は2倍、特定保健指導及び乳房超音波検診は、20%を超える増加となった。

なお、協会けんぽを利用した健診が可能な事業所については、引き続きその利用を推進し、新たな受診者の掘り起こしに取り組んだ。

項目	区分	28年度 計画(人)	28年度 実績(人)	達成率 (%)	27年度 実績(人)	28/27 (%)
定期健康診断		68,000	60,652	89.2	64,626	93.9
協会けんぽ健診		11,000	12,382	112.6	11,259	110.0
特定健康診査		950	961	101.2	425	226.1
特定保健指導	動機づけ支援	200	205	191.0	170	120.6
	積極的支援		177		142	124.6
腹部超音波検査		3,500	3,716	106.2	3,538	105.0
特殊健康診断		14,000	16,569	118.4	14,729	112.5
腸内細菌検査		7,000	8,025	114.6	7,935	101.1
結核検診	CR	70,000	86,134	123.0	88,788	97.0
肺がん検診	CR	16,000	15,377	100.6	16,301	94.3
	CT		718		552	130.1
胃がん検診	間接	17,000	0	115.0	0	-
	DR		19,555		19,918	98.2
大腸がん検診		21,000	24,457	116.5	24,774	98.7
子宮頸がん検診	頸部細胞診	3,500	3,530	100.9	3,810	92.7
乳がん検診	マンモグラフィ	4,600	3,673	119.2	3,374	108.9
	乳房超音波		1,809		1,492	121.2
前立腺がん検診	PSA検査	2,800	2,999	107.1	3,150	95.2

## (3) 学校健診

県内市町の教育委員会等からの委託を受け、学校保健安全法に基づく健診をはじめ小児生活習慣病予防健診などを県内全域に出向いて実施し、健診データを収集した。

計画に対しての実施率は、脊柱側彎症検査が99.6%の達成率にとどまったが、他の項目においては計画を達成した。しかし、実施数の前年度比は、少子化の影響を受け全ての項目において減少した。また、寄生虫検査の大幅な減少は、学校保健安全法施行規則の一部改正により必須項目から削除された影響によるものである。

項目	区分	28年度 計画(人)	28年度 実績(人)	達成率 (%)	27年度 実績(人)	28 / 27 (%)
心臓検診	小・中・高・特殊	31,000	32,082	103.5	32,443	98.9
貧血検査	小・中・高・大・特殊	18,000	19,607	108.9	22,751	86.2
脊柱側わん症検査	小・中	20,800	20,718	99.6	20,972	98.8
尿検査	保幼・小・中・高・特殊	89,000	94,485	106.2	94,771	99.7
寄生虫検査(糞便)	保幼・小・中・特殊	2,000	2,863	143.2	4,337	66.0
寄生虫検査(蟯虫)	保幼・小・中・特殊	8,000	12,778	159.7	41,310	30.9
小児生活習慣病予防健診	小・中	21,000	21,326	101.6	21,376	99.8

## 2 施設健診事業

本所施設では、各種健診検査機器を整備し、これまで以上に働く人(受診者)の利便性を考慮して、休日健診体制を整備実施した。このほか、診療所での人間ドックや労災二次健診を行った。

### (1) 人間ドック健診

公務員共済や各種健康保険組合からの委託を受け、生活習慣病予防健診やがん検診に加え、保健指導、栄養指導もセットにした健診を「人間ドック」として実施し、データを収集した。

ドック健診は、一般的標準健診検査のほか、レディースコース、エグゼクティブコース、セレブリティコースなど受診者のニーズに即した健診を行い、データを収集した。

ドック受診者数については、近年、受診者数の約6割を占めている共済等の組合員数の減少の影響を懸念しているところであるが、平成28年度の実績は、計画に対し2.5%減、4,875名となったものの、平成27年度実績に対しては102.4%と増加した。

人間ドック健診 区分	28年度 計画(人)	28年度 実績(人)	達成率 (%)	27年度 実績(人)	28 / 27 (%)
標準コース	5,000	2,446	97.5	2,355	103.9
レディースコース		1,992		1,953	102.0
セレブリティコース		188		285	66.0
エグゼクティブコース		249		167	149.1
合計	5,000	4,875	97.5	4,760	102.4

### (2) 二次健診等保険診療

主として学童検診心電図検査及び労災保険制度の二次健診機関として、また、結核指定医療機関としての医療を行うための保険診療業務を行った。

保険診療による受診者数 延べ 851人(平成27年度 948人)

労働者災害補償保険法に基づく二次健康診断対象受診者数

延べ 194人(平成27年度 138人)

船員保険生活習慣病予防健診における受診者数

延べ 49人(平成27年度 47人)

## II 情報分析及び提供

### 1 情報分析の実施

各分野の医師、専門技師が中心になって、地域（住民）健診、事業所（職域）健診、学校健診、人間ドック健診などで収集したデータに加え、過去に収集したデータと比較し、経年経緯を分析するとともに、地域別、年齢別、性別等で比較するなどの方法により、地域や職域における疾病等の傾向を分析した。

また、委託元である市町、学校、事業所等のユーザーからの要望を受け、ユーザーに役立ててもらうための分析を行い、分析結果は、委託元のユーザーのほか、全国団体や県、市町などの行政機関、医療機関へ提供し、公衆衛生向上の基礎資料として活用した。

がん検診データの分析にあっては、特に要精密検査と判定された方の追跡調査及び受診勧奨を行い、精密検査未受診者の減少に向けた取り組みを強化した。

### 2 情報の提供

#### (1) 全国団体への提供

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会を通じて、国の健康づくり施策の基礎資料とするため、収集データを提供した。

#### (2) 愛媛県への提供

当協会が実施した健診（検診）結果のデータは、愛媛県生活習慣病予防協議会へ提供するとともに、愛媛県における公衆衛生施策に活かすための基礎資料として提供した。

#### (3) 学会等での発表講演

各種学会、研究会、セミナー等へ職員を積極的に派遣し、意見交換や相互交流を通じて健診（検診）技術の向上に努めるとともに、収集分析したデータをもとに発表又は講演するなど、検診技術の向上に努めた。

各種学会等での発表、論文の投稿及び研修の主な内容は、次のとおりであった。

#### ① 各種学会等での報告

学会等名称	実施日	発表内容	主催団体	発表(報告)者
第20回四国乳房画像研究会	7月31日 (松山市)	乳房超音波検診ビューア及びレポートシステムの開発	四国乳房画像研究会	天野夢美、最上博、菅原礼子、井上裕美、小野池裕美子、土居真コ、中島弘子、重木梓、西山リエ子、西原泰子、栄浩司、川上壽昭
第34回予防医学全国情報統計研修会	8月25日 ～26日 (横浜市)	統合型健診支援システムの構築—システム開発プロジェクトの進め方について—	予防医学事業中央会	土岐川正、高見純、大野智博、呉田貴志、栄浩司
第26回日本乳癌検診学会	11月4日 ～5日 (久留米市)	乳癌検診ビューア及びレポートシステムの開発 ポスター発表	日本乳癌検診学会	天野夢美、最上博、菅原礼子、小野池裕美子、土居真コ、中島弘子、重木梓、西山リエ子、栄浩司、川上壽昭

第 12 回中四 国放射線医療 技術フォーラ ム	11 月 19 日 ～20 日 (松江市)	マンモグラフィ検診 における発見がんの ポジショニングの検 討	日本放射 線 技 師 会・日本 放射線技 術学会	井上裕美、佐伯えみ、天野夢 美、江里口美江、馬場沙織、 小野池裕美子、小山恵理子、 脇長美保、岡田奈桜、藤原淳 子、最上博、川上壽昭、栄浩 司
第 51 回予防 医学技術研究 会議	2 月 23 日 ～24 日 (広島市)	巡廻健診での問診 OCR 情報の活用	予防医学 事業中央 会	浅岡恵美子、垂水真由美、池 本博、首藤隆、佐伯健二、栄 浩司、藤本弘一郎
		システム連携を意識 した画像診断情報シ ステムの構築		大野智博、高見純、呉田貴志、 栄浩司、土岐川正
		自動血球分析装置 X N-2000 の導入につ いて		竹田雄基、池本博、尾崎由希、 渡部陽子、宇都宮親美、佐海 由美、高橋若菜、三好美津子、 谷岡茂幸、桧垣 佳三、益田 裕子、佐伯健二、藤本弘一郎
		心電図検査デジタル 化について(第 I 報)		池本博、森葉子、谷岡茂幸、 桧垣佳三、益田裕子、栄浩司、 佐伯健二、長岡祥宣、藤本弘 一郎
		臨床検査システム (Lavolute7) の導 入と検体ランダムバ ーコード採用の経験		益田裕子、池本博、竹田雄基、 佐海由美、渡部陽子、高橋若 菜、宇都宮親美、三好 美津 子、尾崎由希、谷岡茂幸、桧 垣佳三、佐伯健二、藤本弘一 郎
第 55 回日本 臨床細胞学会 秋季大会	11 月 18 日 (別府市)	腎疾患患者における 尿中、腎生検組織中 の WT-1 陽性細胞数 についての検討	日本臨床 細胞学会	藤田 泰吏

## ② 論文の投稿

著書・学術論文等	掲載雑誌の名称及び発行年月日	発表者
小児生活習慣病予防健診ー最近 6 年間 の愛媛県の成績ー	予防医学ジャーナル第 489 号 7 月 30 日発行	益田 裕子
コバス®4800 システム HPV における TACAS 検体保存安定性検討	医学と薬学 74 巻 2 号 1 月 27 日発行	佐伯健二(共著)

### ③ 研修

職員の資質の向上を図るため、各種の研究集会・学会等に派遣した。

ア 県外関係では、61回 114名を派遣した。主なものは、次のとおりであった。

年	開催日	場 所	研修会・学会等
28	4.14～4.17	横浜市	第72回日本放射線技術学会総会・学術大会
	4.15～4.17	東京都	第113回日本内科学会講演会
	5.28～5.29	横浜市	第57回日本臨床細胞学会総会（春季大会）
	6.10～6.11	鹿児島市	第55回日本消化器がん検診学会総会
	6.12	鹿児島市	第7回ピロリ菌感染を考慮した胃がん検診研究会
	7.28～7.29	松本市	第57回人間ドック学術大会
	8.25～8.26	横浜市	予防医学事業中央会第34回全国情報統計研修会
	9.8～9.9	京都市	2016年度がん征圧全国大会及び支部長会議
	9.16～9.18	東京都	第52回日本医学放射線学会秋季臨床大会
	9.16～9.17	岐阜市	第32回日本診療放射線技師学術大会
	10.13～10.15	さいたま市	第44回日本放射線技術学会秋季学術大会
	10.20～10.21	金沢市	第61回予防医学事業推進全国大会
	10.26～10.28	大阪市	第75回日本公衆衛生学会総会
	11.4～11.5	久留米市	第26回日本乳癌検診学会学術総会
	11.18	高知市	平成28年度予防医学事業推進中国・四国地区会議
	11.18～11.19	別府市	第55回日本臨床細胞学会秋季大会
	11.27	神戸市	第44回人間ドック健診認定医・専門医研修会
	12.1～12.2	東京都	平成28年度胸部画像精度管理研究会
	12.10～12.11	倉敷市	2016年度日本消化器がん検診学会中国・四国地方会
29	1.20～1.22	長崎市	平成28年度日本臨床微生物学会総会・学術集会
	1.27～1.28	浦安市	第45回日本総合検診医学会
	2.9～2.10	甲府市	平成28年度予防医学事業中央会全国業務研修会
	2.22～2.24	広島市	予防医学技術委員会、第51回予防医学技術研究集会
	2.23～2.24	東京都	第40回保健師・看護師研修会
	2.23～2.25	東京都	日本対がん協会胃内視鏡健診に関する研修会
	2.25～2.26	東京都	第36回日本画像医学会
	3.17～3.19	金沢市	第81回日本循環器学会学術集会



事業推進・運営に関する講座等参加及び派遣

県外で開催された講座等に 14 回、20 名を派遣した。主なものは、次のとおりであった。

年	開催日	場所	事業推進・運営関連講座等
28	6. 15	大阪市	全国公益法人協会定例講座「変化する雇用社会をいかに生き抜くか」
	6. 23	東京都	全国公益法人協会特別講習会「事例式で学ぶ給与に関する法的知識と計算実務」
	7. 4 ～7. 5	東京都	公益・一般法人夏季特別講習会「安定期に入った法人運営の落とし穴を未然に防ぐ」
	7. 19	東京都	全国公益法人協会等別講習会「マイナンバーによって変わる労働基準監督署による立入検査対策」
	10. 11	広島市	改正安全衛生法施行に伴うストレスチェック制度セミナー
	12. 6 ～12. 8	東京都	第 35 回結核予防会事務職員セミナー
29	2. 15 ～2. 16	高松市	全国公益法人協会定例講座「非正規雇用をめぐる諸問題と均衡待遇への対応」
	2. 17	大阪市	健診センターのための経営強化セミナー

イ 県内開催には、27 回 157 名を派遣した。主なものは、次のとおりであった。

研修集会・学会等	実施日	実施場所	主催者
第 20 回四国乳房画像研究会	7 月 31 日	ひめぎんホール	四国乳房画像研究会
愛媛大学医学部公衆衛生学交流会	12 月 17 日	愛媛大学城北キャンパス	愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座
がんゲノム医療フォーラム 2016	12 月 27 日	四国がんセンター	国立がん研究センター
平成 28 年度四国地区情報交換会	1 月 12 日	JALシティ松山	愛媛県総合保健協会
第 25 回愛媛県臨床細胞学会総会ならびに学術集会	1 月 29 日	愛媛県立中央病院	愛媛県臨床細胞学会
愛媛県細胞検査士会ならびに病理細胞検査合同研修会	2 月 11 日	愛媛大学医学部付属病院	愛媛県細胞検査士会愛臨技病理・細胞検査研究班
第 51 回デジタルマンモグラフィ技術講習会	2 月 11 日 ～12 日	総合保健協会	日本乳がん検診精度管理中央機構
平成 28 年度松山市精神神経科医会研修会	2 月 18 日	松山市医師会館	松山市精神神経科医会・松山市保健所
乳がん予防対策講習会	3 月 4 日	総合保健協会	愛媛県医師会・愛媛県生活習慣病予防協議会乳がん部会
肺がん予防対策講習会	3 月 9 日	愛媛県医師会館	愛媛県医師会・愛媛県生活習慣病予防協議会肺がん部会

平成 28 年度消化器がん部会 従事者講習会	3 月 11 日	愛媛県医師会館	愛媛県医師会・愛媛県生 活習慣病予防協議会消化 器がん部会
子宮がん検診従事者講習会	3 月 18 日	愛媛県医師会館	愛媛県医師会・愛媛県生 活習慣病予防協議会子宮 がん部会

ウ 協会内部における研修は、25 回開催し、延べ 614 名が参加した。主なものは、次のとおりであった。

年月日	行事等の内容	参加者数
4 月 1 日	新人職員研修「協会組織、事業概要、職員としての心構え、QMS・PMSの基礎知識等について」	9 名
4 月 27 日	よくわかるプライバシー制度研修	11 名
5 月 11 日	接遇についての勉強会	11 名
9 月 21 日	HPV併用検診・子宮体がん検診の渉外・普及啓発勉強会	13 名
11 月 15 日	労災二次検診の事例報告会	15 名
12 月 26 日	接遇向上研修会	14 名
2 月 2 日	文書事務研修会「起案書の書き方等」	13 名
2 月 7 日		16 名
2 月 3 日	医療機関の接遇とコミュニケーション	14 名
2 月 4 日	腹部超音波検査の技術向上について	4 名
2 月 26 日	マンモグラフィ画像評価 (DMQC ファントムを使った評価方法)	6 名
3 月 7 日	中高年に潜む危険信号 (検査結果をどう解釈するか)	116 名
3 月 9 日	個人情報保護に関する講習会	112 名
3 月 28 日	胃がん検診 (撮影) 勉強会	8 名
3 月 29 日	接遇マナーアップ研修会 (南予支所)	55 名

### Ⅲ 情報発信の実施

#### 1 普及啓発事業

##### (1) 地域 (住民)、市町への情報発信

当協会が実施した健診 (検診) 検査から得られた分析データを、県及び市町の健康づくり施策に生かすための基礎資料として提供した。

このほか、県内市町と連携して、また、当協会が主催するなどにより講習会等へ医師や専門職員等を講師として派遣し、住民の健康教育などの施策に協力した。

さらに、特定健診、がん検診、保健指導の受診率向上のため、市町と連携してチラシを作成配布し、啓発に取り組んだ。

① 講演会、研修会の開催

実施日	主催・共催	実施場所	開催内容	参加対象者
3月6日	協会主催	松山市 (協会)	健診事業説明会 ・講演 「子宮頸がん検診の現状と課題—オプション検査としてのHPV検査の実施に向けて—」 愛媛大学大学院医学系研究科産婦人科学特任講師 松元 隆 ・シンポジウム 「受診率向上対策について」 西条市・松野町・国保連合会・協会けんぽが受診率向上対策について紹介 ・報告 「胃がん検診実施指針の改訂について」 画像診断部長 栄 浩司 「尿検査の判定方法について」 検査部長 佐伯 健二 「次年度の検診実施について」 巡回検診部長 首藤 隆 「問診票の改訂に関するお知らせ」 情報管理部長 土岐川 正	市町担当者等42名

② 講師の派遣

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名 (会場等)	派遣者	参加対象者
7月5日	平成28年度東温市糖尿病教室	「糖尿病はなぜ怖い？」	東温市(東温市中央公民館)	医長 藤本 弘一郎	一般市民
10月31日	健康づくりサポーター養成講座	「がん予防でいきいきライフ〜知っておこう女性のがん〜」	四国中央市(四国中央市保健センター)	常務理事 川上 壽昭	四国中央市で健康づくりに関心がある者
12月13日	血管いきいき講座	「できることから始めてみよう」	松前町(松前町総合福祉センター)	医長 長岡 祥宣	松前町住民で健康づくりに興味関心がある者

## (2) 職域（事業所）への情報発信

健診（検査）等から得られる情報を産業医や保健師に提供し、職場における健康管理が適切に行えるよう支援したほか、産業医や保健師と連携し、講演会や講習会を開催して、職員の健康増進に関する意識改革に取り組んだ。

また、「えひめ健康だより」等のパンフレットやリーフレットを定期的に配布し、情報提供を行った。

### ① 講演会、研修会の開催

実施日	主催・共催別 実施場所	開催内容	参加対象者
7月29日	主催：協会 場所：協会	<p>ストレスチェックセミナー</p> <p>①ストレスチェックのお悩みを解決します。 アイテック阪急阪神(株)医療事業本部第一営業部 平田 貢</p> <p>②ストレスチェック実施後の高ストレス者の対応について (一財)日本産業カウンセラー協会四国支部 副 支部長 中島 篤夫</p> <p>③職場の健康づくり～産業医の役割～ 医長(兼)産業医 藤本 弘一郎</p> <p>④ストレスチェック個別相談・ストレスチェックシステム展示</p>	一般事業所 41名

・講師を派遣した研修会等は、次のとおりであった。

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名 (会場等)	派遣者	参加対象者
9月24日	がん検診啓 発セミナー	「大切なあなた とあなたの家族 を守りたい～え ひめの明日のた めに～」	住友生命新居浜 支部主催 (新居浜市)	常務理事 川上 壽昭	住友生命新居浜 支部社員
1月17日	幹部研修会	「中高年に潜む 危険信号」	愛媛県警察本部 主催(警察本部幹 部会議室)	診療所長 西村 一孝	警察本部幹部職 員等

## (3) 学校関係者、教育委員会への情報発信

小児生活習慣病予防健診をはじめ学校保健法に基づく健診を実施し、集めたデータをもとに研修会を開催するとともに、関係機関を訪問し、分析データをわかりやすく説明し、児童・生徒一人ひとりに合った質の高い健康教育ができるよう支援を行った。

このほか、健康教育の一環として大学等からの要請を受け職員を派遣し、啓発活動を実施した。

実施日	実施場所	開催内容	参加対象者
12月6日	主催：協会 場所：宇和島市 (きさいや広場 市民ギャラリー)	平成28年度学校保健事業に係る南予地区研修会 ・講演 「小児科医からみた尿検査の状況」 市立宇和島病院 小児科長 長谷 幸治 「子供たちのSOSを受けとめて」 NPO 法人えひめ心のつばさ 理事長 大野 まつみ 「南予地区における学校尿検査の状況」 南予支所 笹川 恵子	学校保健事業関係者 108名

・講師等を派遣し、参加した研修会等は、次のとおりであった。

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	学校名	派遣者	参加者数
6月21日	がん予防重点健康教育	「私の身体は私が守る！」 ～知っておきたい、健康な女子ライフのために～ 松山市がん予防重点教育の一環として開催	河原医療大学 校	アドバイザー	看護学科 38名
11月15日			松山東雲短期 大学	深田千尋	保育学科 78名

・施設見学等により協会を訪問した学校は、次のとおりであった。

訪問学校名	実施日	内容	参加者数
愛媛県立医療 技術大学	2月20日 ～24日	臨地実習 予防医学分野での健診・検査の現地研修（健診・細菌検査・病理細胞診）	臨床検査学科 10名

#### (4) 専門職（医療関係者）への情報発信

県内の有識者で構成する協会内部の精度管理委員会、愛媛県生活習慣病予防協議会の各種部会、それぞれの専門医・技師で構成される各種症例検討会（胃がん検診、乳がん検診）や各関連学会で情報を発信することにより、医師や放射線技師等の資質向上に取り組んだ。

##### ① 内部精度管理委員会

各種がん検診及び循環器健診精度管理委員会を開催し、検診精度の向上策や受診率の向上問題などについて討議を行った。

実施日	精度管理委員会名	議 題
11月28日	胃がん検診精度管理委員会	「平成27年度 胃がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み」
12月5日	子宮がん検診精度管理委員会	「平成27年度 子宮頸がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み」

1月26日	乳がん検診精度管理委員会	「平成27年度 乳がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み」
2月6日	大腸がん検診精度管理委員会	「平成27年度 大腸がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み」
2月20日	肺がん検診精度管理委員会	「平成27年度 肺がん検診実績報告と検診精度向上に向けての今後の取組み」
3月10日	循環器検診精度管理委員会	「平成27年度 循環器健診実績報告と健診精度向上に向けての今後の取組み」
3月15日	学校心臓検診精度管理委員会	「発足式」

## ② 外部精度管理

関係機関が実施する精度管理調査等を受け、また、各団体が主催する精度管理事業にも積極的に参加した。

### ア 愛媛県内関係

実施日	精度管理委員会名	議 題 ・ 内 容
9月16日	愛媛県臨床検査技師会精度管理調査	血液・血清・生化学・血糖・一般・微生物・生理
1月10日	愛媛県生活習慣病予防協議会 乳がん部会実地調査	乳がん検診の実施状況

### イ 全国関係

CDC/CRMLN 脂質標準化（国立循環器病研究センター主催）

LDL-C・HDL-C・T-CHO・中性脂肪（TG）

日臨技臨床検査精度管理調査（日本臨床検査技師会主催）

血液・血清・生化学・血糖・一般

臨床検査精度管理調査（日本医師会主催） 血液・血清・生化学・血糖・一般

第6回コントロールサーベイ（日本臨床細胞学会施設認定制度委員会主催）

バーチャルスライドによる細胞診スライドサーベイ

平成28年度健診・検査データ共有化事業（予防医学事業中央会主催）

血液・生化学・血糖

日本臨床検査技師会精度保証施設認証（日本臨床検査技師会主催）

血液・生化学・血糖・一般

### ウ 各種症例検討会

がん等の症例検討会に参加し、検診技術の向上に努めた。

症例検討会	実施日	実施場所	参加者数	備 考
乳腺カンファレンス	4月～3月 (月1回)	国立病院機構四国 がんセンター)	9名	診療放射線技師・臨床検査技師
細胞診症例検討会	4月～3月	協会	11名	細胞検査士・臨床検査技師
乳がん症例検討会	3月10日	総合保健協会	22名	医師・診療放射線技師・臨床検査技師

(5) 県民への情報発信

すべての県民の願いである「健やかな生活」をサポートするため、県民の意識向上に向けた啓発活動を実施した。

① 講演会の開催、各種行事への講師派遣、イベント等における啓発活動

健康保持増進について県民の意識向上に向けた啓発活動を実施した。

講師を派遣した講演会、研修会等については、Ⅲ-1 普及啓発事業の各事項に記載のとおり実施している。

イベント等に参加し、啓発活動を行った状況は次のとおりであった。

イベント名	主催者	実施日	実施場所	内容(参加者)
LOVE49 キャンペーン	細胞検査士会	4月10日	いよてつ高島屋前広場	ニュースレター含む資料配布
生き生き幸せフェスティバル	新居浜市社会福祉協議会	10月2日	新居浜市総合福祉センター	婦人がんパネル展示、リーフレット配布
第13回国四中央市健康まつり	四国中央市	10月1日	四国中央市保健センター	パネル展示、乳房超音波・マンモ・胃・大腸検診を実施
リレーフォーライフ・ジャパン 2016 in えひめ	リレー・フォーライフ・ジャパンえひめ実行委員会	10月1日～2日	城山公園(松山市)	協会からは、約100名が参加
東温市健康フォーラム 2016	東温市	10月2日	東温市中央公民館	パネル展示・血管年齢測定
えひめ・まつやま産業まつり「すごいもの博 2016」	えひめ・まつやま産業まつり実行委員会、愛媛県、松山市	11月26日～27日	城山公園(松山市)	愛媛県厚生連との共同出展(がん予防パネル展示・乳がん触診模型体験・血管年齢(協会)・脳年齢測定(厚生連))
国際ソロプチミスト「チャリティバザー」	国際ソロプチミスト	12月11日	きさいや広場(宇和島市)	乳がんパネル展示 リーフレット配布 乳房超音波・マンモの予約受付(3.11)

② がん征圧運動の実施

9月の「がん征圧月間」、10月の「乳がん月間」には、公益財団法人日本対がん協会グループの一員(支部)として、全国の各県支部と呼応し、がんとその予防についての正しい知識と早期発見・早期治療の啓発活動に取り組むほか、期間中、がん募金事業を実施した。

また、愛媛新聞他2紙において、「がん征圧月間」啓発広告を掲載したほか、ポスターを関係機関に配布して掲示を依頼するとともに、JR四国及び伊予鉄道主要駅構内への掲示やデパートでの懸垂幕の設置などを行った。

乳がん月間には、デパート屋上観覧車の電飾広告や、愛媛県庁ロビーで啓発用パネル展示等を行った。

がん征圧月間運動 平成 28 年 9 月 1 日～ 9 月 30 日

乳がん月間運動 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 31 日

平成 28 年度がん募金額 1,783,148 円

媒体名	報道・掲載日	タイトル	内 容	備 考
愛媛新聞	9 月 1 日	がん征圧月間のお知らせ	「きょうからがん征圧月間」検診受診啓発広告	愛媛県下
	10 月 1 日	10 月乳がん月間	受けよう乳がん検診	愛媛県下
毎日新聞	8 月 27 日	第 57 回がん征圧月間	検診受診啓発広告	愛媛県下
	9 月 30 日		「マンモグラフィで乳がんの早期発見を」検診受診啓発広告	愛媛県下
朝日新聞	9 月 1 日	第 57 回がん征圧月間	「検診による早期発見・早期治療を」検診受診啓発広告	愛媛県下
	9 月 2 日			
いよてつ高島屋	9 月 1 日 ～30 日	がん征圧月間	懸垂幕	松山地域
伊予鉄道	9 月 1 日 ～30 日	がん征圧月間	駅構内ポスター掲示(5 枚)	松山地域
JR 四国	9 月 1 日 ～30 日	がん征圧月間	駅構内ポスター掲示(5 枚)	愛媛県下 5 駅
いよてつ高島屋	10 月 1 日	乳がん月間	観覧車(くるりん)電飾広告	松山地域
愛媛県庁ロビー展	10 月 3 日 ～4 日	乳がん月間	パネル・ピンクリボンツリー展示、リーフレット設置	松山地域

### ③ 結核予防運動の実施

「結核予防週間」(9 月 24 日～30 日)に合わせ、公益財団法人結核予防会グループの一員(支部)として、全国の各県支部と呼応して、結核とその予防についての正しい知識と早期発見・早期治療の普及啓発活動を実施したほか、複十字シール募金運動(8 月 1 日～12 月 31 日)に参加して、結核予防活動の資金造成にも協力した。

平成 28 年度複十字シール募金額 3,733,585 円

イベント名	実施日	主催者・実施者	実施場所	内容(参加者)
複十字シール運動街頭募金	9 月 27 日	結核予防会 愛媛県結核予防 連合婦人会	いよてつ高島屋前 (松山市)	募金及び啓発活動

### ④ ピンクリボンえひめ協議会との連携

平成 20 年度に設立されたピンクリボンえひめ協議会に対し協力・支援して、乳がんに対する正しい知識の普及活動を行った。

平成 28 年度は、22 のイベントに参加しパネル展示やパンフレットの配布など啓発活動を実施した。



主な事業は、次のとおりであった。

- レディ薬局主催 健康フェスタ in えひめ 2016 平成 28 年 7 月 2 日～3 日  
パネル展示・乳がん触診模型体験・乳がん検診（マンモグラフィ）・骨密度測定
- タウン情報まつやま 「Shine パスポート」 9 月 20 日号、3 月 20 日号  
乳がん健診の啓発記事と広告
- いよてつ高島屋パネル展示 10 月 1 日～10 月 10 日(乳がん月間)  
啓発パネル、ピンクリボンツリー展示、啓発冊子配布、くるりんライトアップ（10 月 1 日のみ）
- 愛媛県庁ロビー展 10 月 3 日～10 月 4 日 啓発パネル、ピンクリボンツリー展示
- あいテレビ主催 愛といのちのキャンペーン 2016 10 月 8 日  
啓発パネル、ピンクリボンツリー展示、乳がん触診模型体験、乳がん検診実施
- リビング EBC こども博 第 16 回 KID' S フェスタ 10 月 15 日～16 日  
パネル展示・乳がん触診模型体験・募金活動
- タウン情報まつやま主催 ひめ博 2016 10 月 29 日  
パネル展示・乳がん触診模型体験・血管年齢測定・募金活動
- えひめ・まつやま産業まつり すごいもの博 2016 11 月 26 日～27 日  
啓発パネル、乳がん触診模型体験、血管年齢測定、脳年齢測定
- 愛媛県男女参画センターロビー展 平成 29 年 2 月 22 日～3 月 8 日  
パネル展示、啓発冊子配布等

⑤ 予防医学運動の実施

公益財団法人予防医学事業中央会グループの一員（支部）として、生活習慣病予防のための知識の普及啓発活動（パンフレット、チラシ等の配布）を実施し、予防医学活動に取り組んだ。

また、今年度は広島市で開催された第 51 回予防医学技術研究会議に参加し、協会における健診検査の状況を発表するなど積極的な情報提供を行った。

学会等名称	実施日	発表内容	主催団体	発表(報告)者
第 34 回予防医学全国情報統計研修会	8 月 25 日 ～26 日 (横浜市)	「統合型健診支援システムの構築－システム開発プロジェクトの進め方について－」	予防医学事業中央会	土岐川 正
第 51 回予防医学技術研究会議	2 月 23 日 ～24 日 (広島市)	「巡回健診での問診 OCR 情報の活用」 「システム連携を意識した画像診断情報システムの構築」	予防医学事業中央会	浅岡 恵美子 大野 智博

⑥ 広報誌等による情報発信

広報誌「えひめ健康だより」の発行や各種検診の有効性に関するチラシ、生活環境の保全改善に関するパンフレット等を作成配布し、県民の公衆衛生の向上に向けた啓発活動を実施した。

○協会ホームページからの情報発信

協会が発行する広報誌「えひめ健康だより」や事業年報を掲載したほか、事業概要や最新のがん情報及び協会が主催、共催するセミナーなどの開催情報等を掲示し、県民の健康への関心を高める取り組みを行った。

○マスメディアを利用した情報発信

新聞やテレビ等を活用し、がん征圧月間、乳がん月間などの告知や当協会が主催、後援、参加する研修会、イベントなどの開催情報を発信したほか、健診（検査）受診勧奨情報や各種健康情報を提供し、啓発に努めた。

28年度に実施した情報発信は、次のとおりであった。

媒体名	掲載日	タイトル及び内容
愛媛新聞	9月 1日	がん征圧月間のお知らせ検診啓発広告「今日から がん征圧月間」
	10月 1日	「10月は乳がん月間」検診啓発広告 受けよう乳がん検診
毎日新聞	8月27日	第57回がん征圧月間 検診啓発広告
	9月25日	企画特集シリーズ「地域医療を考える」「全人的ケアを目指す緩和病棟」四国がんセンターの取り組み 協賛広告
	9月30日	第57回がん征圧月間 検診啓発広告
朝日新聞	9月 1日	第57回がん征圧月間 検診啓発広告
	9月 2日	がん征圧月間のお知らせ 「検診による早期発見・早期治療を」検診啓発広告
週刊愛媛経済レポート	10月31日発行	「別冊 2017年版愛媛の会社年鑑 巻頭病院ガイド」ストレスチェック紹介
	第2039号 (平成29年1月9日号)	医療特集「がん検診・人間ドックを受けましょう。」 ～早期発見から早期治療へ～
えひめリビング新聞社	12月28・29日配布	年末年始合併号「2017年は体のメンテナンスの年に！」 検診啓発広告

○パンフレット、冊子、チラシによる情報発信

日本対がん協会と連携して、生活習慣病の予防や「乳がんと子宮頸がん」、「がん検診」等の啓発情報を盛り込んだパンフレットを配布するとともに、広報誌「えひめ健康だより」を発行・配布し、広く知識の普及に努めた。

特になんについては、検診結果を健康管理に生かすため精密検査受診勧奨チラシの製作配布を行い、精密検査未受診者の逡減に取り組んだ。

パンフレット、チラシ作成配布の主なものは、次のとおりであった。

パンフレット等の名称	作成又は配布部数(発行回数)
えひめ健康だより	1,500部(発行回数1回)
乳がんと子宮頸がん(対がん協会)	10,000部
がん検診(対がん協会)	12,000部
パンフレット「結核の常識」(結核予防会)	2,400部
複十字誌(結核予防会)	1,200部
健康の輪(結核予防会)	1,920部
対がん協会報(対がん協会)	5,400部
予防医学ジャーナル(予防医学事業中央会)	318部
結核予防週間ポスター(結核予防会)	2,400枚
がん征圧月間ポスター(対がん協会)	350枚
禁煙ポスター(対がん協会)	350枚
禁煙ポスター(結核予防会)	200枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(5大がん)	10,000枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(胃がん)	1,000枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(肺がん)	1,000枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(大腸がん)	1,000枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(乳がん)	1,000枚
がん検診精密検査受診勧奨用チラシ(子宮がん)	1,000枚
ノロウイルス検査のご案内	100枚
食品検査の御案内	100枚
人間ドックのご案内	20,000部
エグゼクティブ・セレブリティコース	5,000枚

新聞折込み等チラシの配布による健診案内・啓発活動は、次のとおりであった。

媒体名	掲載日	タイトル	内 容	備 考
新聞折込み チラシ	7月19日 以降5回	特定健康診査、がん 検診受診案内(日程)	松山市の特定検診、がん 検診受診率向上	「いよてつ高島屋」 折り込みチラシ
新聞折込み チラシ	9月21日	まつやま笑顔ドック の案内	受診勧奨広告 愛媛新聞	松山市39,160部 県厚生連とエリア 分担をして配布
新聞折込み チラシ	7月14日 9月22日	集団健診受診案内	受診勧奨広告 愛媛新聞	宇和島市20,080部
新聞折込み チラシ	10月3日	集団健診案内	受診勧奨広告 全紙	西条市37,180部
新聞折込み チラシ	9月12日	東温市集団健診案内	受診勧奨広告 全紙	東温市11,000部
新聞折込み チラシ	1月4日	松前町集団健診案内	受診勧奨広告 全紙	松前町9,780部

後援等による啓発、活動支援は、次のとおりであった。

後援行事名	主催者	開催日
第16回全国禁煙推進研究会	全国禁煙推進研究会	5月29日
リレーフォーライフ・ジャパン2016 in えひめ	リレー・フォー・ライフ・ジャパンえひめ実行委員会	10月1日 ～2日
第5回道後湯けむり遍路道ツーデーウォーク	道後湯けむり遍路道ツーデーウォーク実行委員会	11月19日 ～20日
愛媛健康（県高）クイズ選手権2017	NPO 法人禁煙推進の会えひめ	1月8日

## 2 生活改善事業

### (1) 特定保健指導

特定健診受診者全員に、健診結果とともに、健康の維持改善に向けたアドバイスなど情報提供を行った。

また、特定健診の結果により、動機づけ支援レベル及び積極的支援レベルに選定された者に対しては、生活習慣の改善に向けてきめ細かな生活改善指導を行った。

動機づけ支援 533名（平成27年度 443名）

積極的支援 228名（平成27年度 187名）

### (2) 生活習慣の改善指導

人間ドック受診者については、生活習慣改善のための情報提供を行うとともに、健診受診後対策を含めた健康づくりのアドバイスを行った。

実施者 4,875名（平成27年度 4,760名）

## 生活環境の保全改善検査調査事業

平成 28 年度も引き続き、飲料水、簡易専用水道、河川・海域、土壌、廃棄物、大気、食品等の生活環境全般に対して、県下全 20 市町、事業所及び個人から委託を受け、それぞれ水道法、学校保健安全法、水質汚濁防止法、環境基本法、下水道法、土壌汚染対策法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、悪臭防止法、食品衛生法等に基づく検査調査を実施し、市町など委託先に対し、検査調査結果データを提供した。

分析結果は、当協会の広報誌「えひめ健康だより」やホームページに掲載するなど、県民の生活環境に対する意識向上のための啓発活動を行った。

また、平成 27 年度に引き続き、食品衛生セミナーを開催し、事業所のニーズに応えた。

機器整備に関しては、騒音測定で使用するレベルレコーダーを更新したほか、液体クロマトグラフ質量分析装置(LC-MS/MS)に付随する冷却ユニットを購入し、食品衛生検査等の精度を求められる各種分析に対応できる体制を整えた。

### I 検査調査事業の実施結果

平成 28 年度の検査件数は、簡易専用水道及び食品衛生検査を除き計画を上回った。また、平成 27 年度実績に対しては、大気検査及び食品衛生検査では増加しているものの、飲料水検査と特殊検査はほぼ横ばい、他の 3 項目は減少した。

水質検査では、前年度に受注した業務の喪失があり件数が減少した。

大気検査は、顧客の業務量増加により、受注件数は増加した。

食品衛生検査は、食品衛生法に基づく製品検査が、平成 21 年度に登録をして以来実績はないものの、精度が求められる輸入食品の検査を実施し、事業所からの自主検査は、水産加工食品の検査が増加したため昨年度を大きく上回った。

なお、この生活環境に関する検査事業は、同業他社との競合も激しく、依然厳しい結果となっている。

#### 検査項目及び検査件数

検査項目	28 年度 計画(件)	28 年度 実績(件)	達成率 (%)	27 年度 実績(件)	28/27(%) 実績対比
飲料水検査	6,200	6,873	110.9	6,845	100.4
水質検査	4,565	5,748	125.9	6,530	88.0
特殊検査	1,080	1,158	107.2	1,154	100.3
大気検査	740	874	118.1	809	108.0
簡易専用水道検査	1,390	1,331	95.8	1,347	98.8
騒音測定	100	210	210.0	222	94.6
食品衛生検査	600	488	81.3	335	145.7

## II 情報発信事業

### 1 県民への情報発信

食品の安全・環境衛生に関するセミナーを開催するとともに、イベントに参加し、啓発活動を行った。

#### ①講演会・研修会の開催

実施日	開催場所	開催内容	参加者
3月24日	主催：協会 場所：協会	食品衛生セミナー2017 ・講演1「今日から取り組むべき衛生管理について」 ・講演2「品質管理の強化による取引先への信頼向上」 (一財) 広島県環境保健協会 食品検査課長 和田 貴臣 ・意見交換会	食品関連企業担当者 15名

#### ②研修会・学習会等への講師派遣

実施日	研修会・講演会名称	演題名・内容	主催団体名 会場等	派遣者	参加対象者
該当なし	—	—	—	—	—

#### ③イベント等への参加による啓発活動

イベント名	主催者	実施日	実施場所	内容(参加者)
キッズジョブまつやま(子供職場体験イベント)	松山市小中学校PTA連合会 松山市文化・スポーツ振興財団 共催	12月18日	松山市総合コミュニティセンター(松山市)	職業：臭気判定士 環境測定の実習

#### ④パンフレットの作成、配布

パンフレット等の名称	作成部数または配布部数(発行回数)
環境検査業務のご案内	500部(配布部数)

### 2 外部精度管理

関係機関が実施する精度管理調査等を受け、また、各団体が主催する精度管理事業にも積極的に参加した。主なものは、次のとおりであった。

#### ア 全国関係

厚生労働省主催	水道水質検査精度管理のための統一試料調査(ジクロ酢酸等)
食品薬品安全センター主催	食品衛生外部精度管理調査(大腸菌、農薬等)
環境省主催	環境測定分析統一精度管理調査(模擬廃棄物・水質試料)
全国給水衛生検査協会主催	飲料水検査精度管理調査(塩化物イオン等)
全国給水衛生検査協会主催	簡易専用水道検査外部精度管理調査(検査施設の適合判定)
日本作業環境測定協会主催	総合精度管理クロスチェック(サンプリング等)

イ 県内関係

愛媛県立衛生環境研究所主催 水道水質検査外部精度管理調査（塩化物イオン等）

愛媛県立衛生環境研究所主催 水質分析精度管理調査（COD、全窒素等）

3 研修

職員の資質向上を図るため、各種研究会・学会等に職員を派遣した。

ア 研修派遣（県外）では、25回29名を派遣した。主なものは次のとおりであった。

開催日	場所	研修会・学会等
6.16～6.17	山口市	全国給水衛生検査協会西日本支部平成28年度総会等
7.27	大阪市	平成27年度環境測定分析統一精度管理調査結果説明会
8.25～8.26	佐賀市	西日本地区食品衛生検査機関研究協議会平成28年度総会・研修会
9.15～9.16	東京都	第37回日本食品微生物学会
11.17～11.18	東京都	平成28年度全国飲料水検査研究発表会
12.15～12.16	東京都	平成28年度簡易専用水道検査全国技術研究発表会
1.19～1.20	東京都	平成28年度残留農薬等研修会
2.1	東京都	平成28年度 20条検査・34条検査登録機関検査部門管理者及び信頼性確保部門管理者研修会
2.6～2.8	神戸市	HACCP3日間実践研修

イ 研修派遣（県内）

研修会・学会等	実施（開催）日	実施場所
新任者教育講座	8月5日	東京第一ホテル松山
第24回四国地区20条・24条研修会	10月21日	メルパルク松山
愛媛県公衆衛生技術研究会	2月24日	愛媛県立衛生環境研究所

ウ 協会内部研修

協会内部における研修会は、2回開催し、延べ27名が参加した。

開催日	行事等の内容	参加者数
12月27日	QMS・PMS研修会	24名
3月15日	食品検査内部研修	3名

## 法人運営に関する事項

### I 役員会に関する事項

#### 1 監査

開催日 平成28年6月8日  
場 所 愛媛県総合保健協会  
監査事項 平成27年度会計及び会務の運営状況

#### 2 理事会・評議員会

##### ○第1回理事会

開催日 平成28年6月9日  
場 所 愛媛県総合保健協会  
出席者 理事 9名 監事 1名 (欠席監事 1名)  
決議事項  
平成27年度事業報告及び計算書類等の承認  
平成28年度定時評議員会招集の決定  
報告事項  
業務執行理事による職務の執行状況報告

##### ○定時評議員会

開催日 平成28年6月27日  
場 所 伊予鉄会館  
出席者 評議員 7名 監事 2名  
決議事項  
平成27年度事業報告及び決算報告の承認  
報告事項  
平成28年度事業計画及び収支予算  
業務執行理事による職務の執行状況報告

##### ○第2回理事会

開催日 平成28年12月2日  
場 所 愛媛県総合保健協会  
出席者 理事 9名 監事 2名  
決議事項  
平成28年度上半期の事業の進捗状況の承認  
東予出張所の移転計画(当初案)の承認



## ○第3回理事会

開催日 平成29年3月22日

場 所 愛媛県総合保健協会

出席者 理事 9名 監事1名 (欠席監事 1名)

決議事項

平成29年度事業計画及び収支予算書の決定

愛媛県総合保健協会諸規程の一部改正の承認

次期事務局長の承認

東予出張所の移転計画(変更案)の承認

報告事項

前回理事会以降における事業等経過報告

## II 表彰

表彰名	受章者氏名	受賞年月日	表彰行事名	受賞理由
予防医学事業 中央会学術賞 (児玉賞)	宮野 浩 ほか10名	2月23日	第51回予防医学技術 研究会議 (広島市)	発表 「胃X線造影検査におけ る透視観察の重要性につ いて」が極めて優秀

## III 主な固定資産購入

### (1) 建物

(健康)

- ・ドック内視鏡検査室構築工事 1式

### (2) 建物付属設備

(健康)

- ・ドック内視鏡検査室下水道設備設置工事
- ・ドック内視鏡検査室換気設備工事 1式
- ・ドック診察室照明電源等工事 1式
- ・ドック空調設備増設工事 1式

### (3) 車両運搬具

(健康)

- ・業務車両 3台
- ・業務車両(軽) 1台
- ・業務バイク 1台

(環境)

- ・業務車両 1台
- ・業務車両(軽) 1台

### (4) 器具備品(主な検査機器)

(健康)

- ・無散瞳眼底カメラ 2台
- ・超音波診断装置(心臓) 1台
- ・遺伝子検査装置 1台

- ・自動ガラス封入装置 1台
- ・局所換気装置 1台
- ・外部読影用 Viewer 2台

(環境)

- ・高圧蒸気滅菌器 2台
- ・送風低温乾燥機 1台
- ・標準ガス調整装置 1台
- ・LC-MS/MS冷却ユニット 1台
- ・レベルレコーダー 1台
- ・デジタル粉じん計 1台
- ・ポータブル濁度色度計 1台

(5) 無形固定資産

(健康)

- ・健康診断業務管理システムカスタマイズ 1式
- ・健診データ収集システムカスタマイズ 1式
- ・医用画像統合システムカスタマイズ 1式
- ・外部読影システム構築 1式

# 平成 28 年度 財務諸表等

## 目 次

1. 貸借対照表	-----	1
2. 正味財産増減計算書	-----	2～3
3. 正味財産増減計算書内訳表	-----	4～5
4. 財務諸表に対する注記	-----	6～8
5. 附属明細書	-----	9
6. 財産目録	-----	10～12
7. 監査報告書		

# 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	374,679,204	207,165,236	167,513,968
定期預金	1,360,000,000	1,420,000,000	△ 60,000,000
未収金	244,359,534	246,040,510	△ 1,680,976
前払金	3,054,427	2,133,530	920,897
立替金	1,483,600	956,320	527,280
仮払金	1,152,016	1,310,472	△ 158,456
貯蔵品	25,817,677	22,931,244	2,886,433
流動資産合計	2,010,546,458	1,900,537,312	110,009,146
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基金特定預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付積立預金	500,000,000	500,000,000	0
車両運搬具	2	2	0
特定資産合計	500,000,002	500,000,002	0
(3) その他固定資産			
土地	477,028,038	477,028,038	0
建物	617,566,237	635,888,287	△ 18,322,050
建物付属設備	88,256,195	98,711,677	△ 10,455,482
構築物	12,781,424	15,211,426	△ 2,430,002
車両運搬具	120,420,349	184,873,637	△ 64,453,288
器具備品	194,649,662	265,031,064	△ 70,381,402
一括償却資産	4,758,264	7,546,943	△ 2,788,679
無形固定資産	273,955,523	256,698,101	17,257,422
ソフトウェア仮勘定	0	30,898,800	△ 30,898,800
敷金	628,000	628,000	0
その他固定資産合計	1,790,043,692	1,972,515,973	△ 182,472,281
固定資産合計	2,390,043,694	2,572,515,975	△ 182,472,281
資産合計	4,400,590,152	4,473,053,287	△ 72,463,135
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	210,930,124	305,398,683	△ 94,468,559
未払消費税	42,273,000	20,055,300	22,217,700
未払法人税等	5,202,200	7,503,600	△ 2,301,400
預り金	10,826,757	10,964,528	△ 137,771
流動負債合計	269,232,081	343,922,111	△ 74,690,030
2. 固定負債			
退職給付引当金	671,905,409	638,156,061	33,749,348
固定負債合計	671,905,409	638,156,061	33,749,348
負債合計	941,137,490	982,078,172	△ 40,940,682
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	100,000,000	100,000,000	0
受贈車両運搬具	2	2	0
指定正味財産合計	100,000,002	100,000,002	0
(うち基本財産への充当額)	( 100,000,000 )	( 100,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 2 )	( 2 )	( 0 )
2. 一般正味財産	3,359,452,660	3,390,975,113	△ 31,522,453
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	3,459,452,662	3,490,975,115	△ 31,522,453
負債及び正味財産合計	4,400,590,152	4,473,053,287	△ 72,463,135

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基金特定預金受取利息	40,000	45,123	△ 5,123
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	327,712	325,000	2,712
③ 巡回健診事業収益			
巡回健診事業収益	1,982,122,208	1,996,152,720	△ 14,030,512
④ 施設健診事業収益			
施設健診事業収益	441,339,399	432,619,265	8,720,134
⑤ 環境検査事業収益			
環境検査事業収益	319,065,556	320,029,483	△ 963,927
⑥ 受取補助金等			
受取国庫補助金	0	6,505,000	△ 6,505,000
受取地方公共団体補助金	0	0	0
受取民間補助金	1,833,385	1,999,413	△ 166,028
受取地方公共団体助成金	0	0	0
受取民間助成金	50,000	50,000	0
受取補助金等合計	1,883,385	8,554,413	△ 6,671,028
⑦ 受取寄附金			
受取寄附金	1,783,148	1,500,620	282,528
特定資産振替額	0	0	0
受取寄附金合計	1,783,148	1,500,620	282,528
⑧ 雑収益			
受取利息	564,269	829,450	△ 265,181
雑収益	4,125,438	2,493,825	1,631,613
雑収益合計	4,689,707	3,323,275	1,366,432
経常収益計	2,751,251,115	2,762,549,899	△ 11,298,784
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	10,282,500	10,282,500	0
給料手当	857,269,232	859,037,532	△ 1,768,300
臨時雇賃金	440,607,506	385,847,655	54,759,851
法定福利費	167,450,718	166,374,601	1,076,117
退職給付費用	72,047,073	80,839,408	△ 8,792,335
福利厚生費	16,293,156	14,595,229	1,697,927
医師報酬費	203,489,170	200,386,553	3,102,617
会議費	4,645,732	2,401,225	2,244,507
旅費交通費	45,372,107	47,361,436	△ 1,989,329
通信運搬費	23,789,299	22,918,656	870,643
備消耗品費	37,036,240	70,783,133	△ 33,746,893
医薬材料費	169,251,593	162,946,678	6,304,915
修繕費	35,549,204	31,630,742	3,918,462
保守管理費	73,155,731	71,084,350	2,071,381
印刷製本費	15,828,193	20,998,296	△ 5,170,103
燃料費	18,137,841	19,627,911	△ 1,490,070
光熱水料費	27,100,827	28,379,354	△ 1,278,527
保険料	7,469,426	7,773,667	△ 304,241
賃借料	15,043,431	15,486,452	△ 443,021
委託費	73,923,203	52,855,330	21,067,873
諸会費	654,480	787,500	△ 133,020
租税公課	165,271,019	144,754,395	20,516,624
支払負担金	1,627,524	1,767,524	△ 140,000
支払寄附金	0	0	0
雑費	591,686	623,485	△ 31,799
減価償却費	271,181,946	273,980,542	△ 2,798,596
固定資産除却損	4,693,098	1,145,874	3,547,224
事業費合計	2,757,761,935	2,694,670,028	63,091,907

# 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費			
役員報酬	2,581,829	2,548,418	33,411
職員給料手当	5,285,213	5,118,901	166,312
臨時雇賃金	187,900	188,200	△ 300
法定福利費	1,116,046	1,077,466	38,580
退職給付費用	665,431	248,994	416,437
福利厚生費	65,434	58,615	6,819
会議費	374,246	327,740	46,506
旅費交通費	131,709	96,574	35,135
通信運搬費	90,679	96,794	△ 6,115
備消耗品費	7,746	5,108	2,638
修繕費	214,993	32,553	182,440
保守管理費	14,569	15,136	△ 567
印刷製本費	2,472	2,397	75
燃料費	22,566	30,409	△ 7,843
光熱水料費	25,403	26,754	△ 1,351
保険料	3,468	3,497	△ 29
賃借料	21,610	21,600	10
委託費	1,696,025	1,735,920	△ 39,895
諸会費	598,016	529,730	68,286
租税公課	742,450	329,715	412,735
支払負担金	290,000	290,000	0
支払寄附金	5,547,400	5,811,636	△ 264,236
雑費	16,422	7,112	9,310
減価償却費	107,805	121,180	△ 13,375
固定資産除却損	1	0	1
管理費合計	19,809,433	18,724,449	1,084,984
経常費用計	2,777,571,368	2,713,394,477	64,176,891
当期経常増減額	△ 26,320,253	49,155,422	△ 75,475,675
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
器具備品売却益	0	0	0
固定資産売却益計	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 26,320,253	49,155,422	△ 75,475,675
法人税・住民税及び事業税	5,202,200	7,503,600	△ 2,301,400
当期一般正味財産増減額	△ 31,522,453	41,651,822	△ 73,174,275
一般正味財産期首残高	3,390,975,113	3,349,323,291	41,651,822
一般正味財産期末残高	3,359,452,660	3,390,975,113	△ 31,522,453
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金	1,783,148	1,500,620	282,528
② 基本財産運用益			
基本財産受取利息	40,000	45,123	△ 5,123
③ 受取補助金等			
受取国庫補助金	0	6,505,000	△ 6,505,000
受取民間補助金	1,833,385	1,999,413	△ 166,028
④ 固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	0	0	0
⑤ 一般正味財産への振替額			
受取寄附金	△ 1,783,148	△ 1,500,620	△ 282,528
基本財産受取利息	△ 40,000	△ 45,123	5,123
受取国庫補助金	0	△ 6,505,000	6,505,000
受取民間補助金	△ 1,833,385	△ 1,999,413	166,028
特定資産振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額合計	△ 3,656,533	△ 10,050,156	6,393,623
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,002	100,000,002	0
指定正味財産期末残高	100,000,002	100,000,002	0
III 正味財産期末残高	3,459,452,662	3,490,975,115	△ 31,522,453

# 正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	健康づくり サポート事業	環境検査調査事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基金特定預金受取利息	0	0	40,000	40,000
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	262,170	65,542	0	327,712
③ 巡回健診事業収益				
巡回健診事業収益	1,982,122,208	0	0	1,982,122,208
④ 施設健診事業収益				
施設健診事業収益	441,339,399	0	0	441,339,399
⑤ 環境検査事業収益				
環境検査事業収益	0	319,065,556	0	319,065,556
⑥ 受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	1,833,385	0	0	1,833,385
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0
受取民間助成金	50,000	0	0	50,000
受取補助金等合計	1,883,385	0	0	1,883,385
⑦ 受取寄附金				
受取寄附金	1,783,148	0	0	1,783,148
特定資産振替額	0	0	0	0
受取寄附金合計	1,783,148	0	0	1,783,148
⑧ 雑収益				
受取利息	57,895	9,676	496,698	564,269
雑収益	3,742,105	327,918	55,415	4,125,438
雑収益合計	3,800,000	337,594	552,113	4,689,707
経常収益計	2,431,190,310	319,468,692	592,113	2,751,251,115
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	8,568,750	1,713,750		10,282,500
給料手当	741,455,543	115,813,689		857,269,232
臨時雇賃金	422,918,674	17,688,832		440,607,506
法定福利費	147,200,685	20,250,033		167,450,718
退職給付費用	48,372,239	23,674,834		72,047,073
福利厚生費	14,068,387	2,224,769		16,293,156
医師報酬費	203,489,170	0		203,489,170
会議費	4,402,562	243,170		4,645,732
旅費交通費	38,715,167	6,656,940		45,372,107
通信運搬費	22,898,388	890,911		23,789,299
備消耗品費	35,049,191	1,987,049		37,036,240
医薬材料費	146,168,272	23,083,321		169,251,593
修繕費	31,806,100	3,743,104		35,549,204
保守管理費	69,817,526	3,338,205		73,155,731
印刷製本費	15,585,668	242,525		15,828,193
燃料費	16,817,761	1,320,080		18,137,841
光熱水料費	22,807,675	4,293,152		27,100,827
保険料	6,541,779	927,647		7,469,426
賃借料	14,496,420	547,011		15,043,431
委託費	62,554,884	11,368,319		73,923,203
諸会費	57,980	596,500		654,480
租税公課	145,555,300	19,715,719		165,271,019
支払負担金	1,627,524	0		1,627,524
支払寄附金	0	0		0
雑費	377,715	213,971		591,686
減価償却費	248,940,924	22,241,022		271,181,946
固定資産除却損	4,569,185	123,913		4,693,098
事業費合計	2,474,863,469	282,898,466		2,757,761,935

# 正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
	健康づくり サポート事業	環境検査調査事業		
② 管理費				
役員報酬			2,581,829	2,581,829
職員給料手当			5,285,213	5,285,213
臨時雇賃金			187,900	187,900
法定福利費			1,116,046	1,116,046
退職給付費用			665,431	665,431
福利厚生費			65,434	65,434
会議費			374,246	374,246
旅費交通費			131,709	131,709
通信運搬費			90,679	90,679
備消耗品費			7,746	7,746
修繕費			214,993	214,993
保守管理費			14,569	14,569
印刷製本費			2,472	2,472
燃料費			22,566	22,566
光熱水料費			25,403	25,403
保険料			3,468	3,468
賃借料			21,610	21,610
委託費			1,696,025	1,696,025
諸会費			598,016	598,016
租税公課			742,450	742,450
支払負担金			290,000	290,000
支払寄附金			5,547,400	5,547,400
雑費			16,422	16,422
減価償却費			107,805	107,805
固定資産除却損			1	1
管理費合計			19,809,433	19,809,433
経常費用計	2,474,863,469	282,898,466	19,809,433	2,777,571,368
当期経常増減額	△ 43,673,159	36,570,226	△ 19,217,320	△ 26,320,253
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
器具備品売却益	0	0	0	0
固定資産売却益計	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 43,673,159	36,570,226	△ 19,217,320	△ 26,320,253
他会計振替額	17,269,061	△ 17,269,061	0	0
法人税・住民税及び事業税	0	5,202,200	0	5,202,200
当期一般正味財産増減額	△ 26,404,098	14,098,965	△ 19,217,320	△ 31,522,453
一般正味財産期首残高	2,011,035,591	493,975,624	885,963,898	3,390,975,113
一般正味財産期末残高	1,984,631,493	508,074,589	866,746,578	3,359,452,660
II 指定正味財産増減の部				
① 受取寄附金	1,783,148	0	0	1,783,148
② 基本財産運用益				
基本財産受取利息	0	0	40,000	40,000
③ 受取補助金等				
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	1,833,385	0	0	1,833,385
④ 固定資産受贈益				
車両運搬具受贈益	0	0	0	0
⑤ 一般正味財産への振替額				
受取寄附金	△ 1,783,148	0	0	△ 1,783,148
基本財産受取利息	0	0	△ 40,000	△ 40,000
受取国庫補助金	0	0	0	0
受取民間補助金	△ 1,833,385	0	0	△ 1,833,385
特定資産振替額	0	0	0	0
一般正味財産への振替額合計	△ 3,616,533	0	△ 40,000	△ 3,656,533
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2	0	100,000,000	100,000,002
指定正味財産期末残高	2	0	100,000,000	100,000,002
III 正味財産期末残高	1,984,631,495	508,074,589	966,746,578	3,459,452,662



# 財務諸表に対する注記

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

## 2. 重要な会計方針

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 建物の減価償却は、定額法によっている。
- ② 建物付属設備及び構築物等の減価償却は、定率法によっている。(平成28年3月31日以前取得分)  
建物付属設備及び構築物等の減価償却は、定額法によっている。(平成28年4月1日以後取得分)
- ③ 車両運搬具の減価償却は、定率法によっている。
- ④ 器具備品の減価償却は、定率法によっている。

### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職金の要支給額に相当する金額を計上している。

### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法による会計処理によっている。

### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 3. 会計方針の変更

会計方針の変更は無い。

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基金特定預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付積立金	500,000,000	0	0	500,000,000
車両運搬具	2	0	0	2
小計	500,000,002	0	0	500,000,002
合計	600,000,002	0	0	600,000,002

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基金特定預金	100,000,000	100,000,000	0	-
小計	100,000,000	100,000,000	0	-
特定資産				
退職給付積立金	500,000,000	-	0	500,000,000
車両運搬具	2	2	0	-
小計	500,000,002	2	0	500,000,000
合計	600,000,002	100,000,002	0	500,000,000

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産(車両運搬具)	31,801,001	31,800,999	2
土地	477,028,038	0	477,028,038
建物	888,959,531	271,393,294	617,566,237
建物付属設備	425,721,784	337,465,589	88,256,195
構築物等	51,867,178	39,085,754	12,781,424
車両運搬具	1,183,974,456	1,063,554,107	120,420,349
器具備品	1,005,344,932	810,695,270	194,649,662
一括償却資産	19,857,475	15,099,211	4,758,264
無形固定資産	388,801,406	114,845,883	273,955,523
敷金	628,000	-	628,000
合計	4,473,983,801	2,683,940,107	1,790,043,694

※ 特定資産(車両運搬具)は、結核予防会名義の胸部検診車(800ス2356)受贈(名義変更)に伴い、結核予防会からの受贈額10,266,666円、自己負担金額(その他負担金)21,534,334円、計31,801,000円、及び日本対がん協会名義の胃部検診車(800ハ5113)受贈(名義変更)に伴い、日本対がん協会からの受贈額1円合計31,801,001円を計上。

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受贈車両運搬具						
胸部検診車 特定資産(車両運搬具)	公益財団法人 結核予防会	1	0	0	1	指定正味財産
胃部検診車 特定資産(車両運搬具)	公益財団法人 日本対がん協会	1	0	0	1	指定正味財産
補助金						
マンモグラフィ検診車 国庫補助	愛媛県	450,687	0	150,228	300,459	一般正味財産
マンモグラフィ画像読 影支援システム国庫 補助	愛媛県	1	0	0	1	一般正味財産
マンモグラフィ画像読 影支援システム国庫 補助	愛媛県	5,637,675	0	2,255,070	3,382,605	一般正味財産
複十字シール募金 活動補助金	公益財団法人 結核予防会	0	1,833,385	1,833,385	0	一般正味財産
助成金						
胃部DR検診車 整備事業	財団法人 日本宝くじ協会	1,237,822	0	618,909	618,913	一般正味財産
がん征圧月間助 成金	公益財団法人 日本対がん協会	0	50,000	50,000	0	一般正味財産
合計		7,326,187	1,883,385	4,907,592	4,301,980	

※ 受贈車両運搬具は、財団法人JKA(旧 日本自転車振興会)から結核予防会及び日本対がん協会に検診車として補助され、名義変更に伴い受贈した。

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基金特定預金受取利息	40,000
受取寄付金	1,783,148
受取民間補助金	1,833,385
合 計	3,656,533

# 附属明細書

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記4に記載している。

## 2 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表の注記5に記載している。

# 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	0	
預金	普通預金	公益目的事業、収益事業等及び法人運営の運転資金として	374,679,204	
	伊予銀行 松山駅前支店		( 231,890,381 )	
	伊予銀行 新居浜支店		( 2,247,042 )	
	伊予銀行 和霊町支店		( 6,204,581 )	
	愛媛銀行 松山駅前支店		( 50,629,034 )	
	愛媛信用金庫 松山本町支店		( 82,368,314 )	
	ゆうちょ銀行 徳島貯金事務センター		( 1,339,852 )	
	定期預金	公益目的事業、収益事業等及び法人運営の運転資金として	1,360,000,000	
	伊予銀行 松山駅前支店		( 1,050,000,000 )	
	愛媛銀行 松山駅前支店		( 100,000,000 )	
	愛媛信用金庫 松山本町支店		( 210,000,000 )	
未収金	公益目的事業に係る未収金	健診・検査等の未収金として	185,200,340	
	収益事業等に係る未収金	環境検査等の未収金として	59,159,194	
前払金	前払金	自動車リサイクル料等	3,054,427	
立替金		職員奨学金等	1,483,600	
仮払金		職員所得税等	1,152,016	
棚卸資産	貯蔵品		25,817,677	
	通信運搬費(切手)		( 679,893 )	
	医薬材料費(資材、試薬等)		( 12,255,221 )	
	印刷製本費(印刷物)		( 12,719,463 )	
	賃借料(駐車券)		( 153,500 )	
	租税公課(印紙)		( 9,600 )	
<b>流動資産合計</b>			<b>2,010,546,458</b>	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	伊予銀行松山駅前支店	運用益を法人運営の財源として使用している	100,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 伊予銀行松山駅前支店	公益目的事業及び収益事業等に従事する職員の退職給付引当資産	500,000,000
	車輛運搬具	受贈車輛運搬具 検診車2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	2
その他	土地	松山市味酒町2-5-7      163.57㎡	自己所有の土地である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	842,338
の資産		松山市宮田町6-6      337.00㎡	自己所有の土地である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・88.3%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格58,278,000円) ・11.7%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格7,722,000円)	66,000,000

# 財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
建物	松山市味酒町1-10-5 2,021.58㎡	自己所有の土地である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格278,968,561円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格56,802,032円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格336,107円)	336,106,700
	宇和島市朝日町3-515 973.75㎡	自己所有の土地である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	74,079,000
	松山市宮田町6-6	自己所有の建物である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・88.3%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格19,068,863円) ・11.7%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格2,526,678円)	21,595,541
	松山市味酒町1-10-5 (本部ビル)	自己所有の建物である。共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格418,373,207円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格85,186,834円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格504,064円)	504,064,105
	松山市味酒町1-10-5 (機能強化工事)	自己所有の建物である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。(機能強化工事)	13,005,553
建物付属設備	宇和島市朝日町3-515(南予支所)	自己所有の建物である。公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	78,901,038
	本部ビル・南予支所 光ケーブル敷設・LANケーブル敷設等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	37,334,619
	本部ビル配管設備等	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	4,976,116
	本部ビル電気設備等	共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格38,134,732円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格7,764,783円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格45,945円)	45,945,460
構築物	味酒町2-5-7駐車場・南予支所駐車場等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	7,084,389
	本部ビル駐車場等	共有財産であるため、使用面積の割合により下記の通り按分している ・83.0%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格4,728,539円) ・16.9%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格962,799円) ・0.1%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格5,697円)	5,697,035
車輦運搬具	検診車30台、業務車両42台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	118,218,159
	業務車両8台	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	2,202,188
	業務車両2台	共有財産であるため、使用割合により下記の通り按分している ・78.5%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格2円) ・11.5%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格0円) ・10%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格0円)	2
器具備品	放射線機器、分析装置他機材	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	163,831,043
	分析装置他機材	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	29,369,358
	プロジェクター、シュレッターほか	共有財産であるため、使用割合により下記の通り按分している ・78.5%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格1,137,670円) ・11.5%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格166,665円) ・10%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格144,926円)	1,449,261

# 財産目録

平成28年3月31日現在

(単位:円)


貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
一括償却資産  無形固定資産	パソコン、機材ほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	4,159,944
	機材ほか	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	598,320
	健診システムほか	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	273,812,687
	会計・給与システム	共有財産であるため、使用割合により下記の通り按分している ・78.5%は、公益目的保有財産として公益目的事業に供している(期末帳簿価格112,126円) ・11.5%は、公益目的事業に必要な収益事業等に供している(期末帳簿価格16,426円) ・10%は、公益目的事業に必要な法人運営に供している(期末帳簿価格14,284円)	142,836
敷金	駐車場敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している	583,750
	駐車場敷金	公益目的事業に必要な収益事業等に供している	44,250
固定資産合計			2,390,043,694
資産合計			4,400,590,152
(流動負債)	未払金	未払金	210,930,124
		2,3月分未払金	公益目的事業に係る未払金 ( 182,771,791 )
		2,3月分未払金	収益事業等に係る未払金 ( 25,837,403 )
		2,3月分未払金	法人運営に係る未払金 ( 2,320,930 )
	未払消費税等		42,273,000
	未払法人税等 預り金	源泉所得税、住民税他	5,202,200 10,826,757
流動負債合計			269,232,081
(固定負債)	退職給付引当金	職員の期末退職金の要支給額に相当する金額	671,905,409
固定負債合計			671,905,409
負債合計			941,137,490
正味財産			3,459,452,662

# 監査報告書

平成29年6月1日

公益財団法人 愛媛県総合保健協会

理事長 久野 梧郎 殿

監事 東倉勝利 

監事 岸川悟 

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会及び評議員会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上